

伊豆長岡温泉に泊まって厄払い!! 第53回 **鶺鴒ばらい祭** 平成30年 1/28 (日)

「鶺鴒ばらい祭」とは…

頭が猿、胴体が虎、尾が蛇の妖怪「鶺鴒」を、古奈の生まれであるあやめ御前の夫源頼政が退治したという故事に基づいて行われるようになったお祭り。

時は仁平年間（平安時代）のこと。宮中では近衛天皇が毎夜の如く奇病に悩まされた。深夜になると黒煙が御所を覆い鶺鴒の鳴き声が聞こえ、その度に天皇は苦しみました。その夜もヒョーヒョーという気味悪い声をあげながら黒煙とともに、警護についていた頼政と家来である猪早太・波辺競の前に姿を現した。弓の名手である頼政が力いっぱい弓を引くと鶺鴒に見事命中し、駆け寄った早太が剣で突き刺し、退治をした。それ以来、里人達は、薫で作った鶺鴒を焼いて災厄を逃れた。

毎年「鶺鴒ばらい祭」では、地元中学生がこの日のために練習を重ねた鶺鴒踊りを披露します。また、会場では弓のデモンストレーションや芸者衆による踊りや福を呼ぶ豆まきも行われます。



**アクセス ACCESS**

電車・バス 三島駅 — 伊豆箱根鉄道 (約20分) — 伊豆長岡駅 — バス (約10分) — 宗徳寺前バス停下車

お車 東名沼津I.C. / 新東名長泉沼津I.C. — 東駿河湾環状道路・伊豆中央道 (約25分) / 国道1号線・国道136号線経由 (約40分) — 伊豆長岡・湯らっくす公園

※ 駐車場はさかなやアネックスホテル西、または三楽の宿さかや、旧こだま荘跡地等をご利用頂きますが、台数に限りがございますのでできるだけ公共交通機関をご利用下さい。